

JFE スチールのグループ会社

JFE技報 No.1
(2003年6月) p.22-23

JFE Steel Group Companies

Reorganization Aiming at “Only One Group”

ア ノ T [復鉄及 V @ c e グ 菇 6 R e カ S R ム

表1 JFEスチールのグループ会社

(3社)	JFEサンソセンター，福山共同火力，水島共同火力
化学 (1社)	JFEケミカル
環境リサイクル (4社)	JFEアーバンリサイクル，JFE環境，ジャパン・リサイクル，水島エコワークス
サービス一般・管財 (12社)	エヌケーエフ，エヌケーケーアップル，エヌシル，エヌ JFE マネジメントセンター， 福山テクノリサーチ，水島ゼネラルサービス，南愛知タウンサービス
施設運営 (8社)	海浜商業開発，JFE奥草津，JFE瀬戸内海エンタープライズ，千葉新都心開発，千葉熱供給，富士川開発， 幕張タウンセンター，鷺羽開発
商社 (3社)	エヌケーケートレーディング，川鉄商事，JFE溶接棒

また製鉄所には、電力や各種用役のプラントおよび化学プラントが立地し、それらの運営はグループ会社に委ねられている。化学分野では、製鉄プロセスに由来する原料を用いたグループ会社独自の製品事業も発展している。さらに近年では、製鉄所の特性を活用した環境リサイクル事業が根づき、今後の伸長が期待されている。

このように、JFEスチールは広い範囲でグループ事業を展開しているが、それぞれの事業をグループとして保有する意義は、言うまでもなく収益面での貢献にある。このため JFE スチールでは、各事業の位置づけを明確化した上で、その育成と強化を図るため、グループ会社全般にわたって再編を進めていく方針である。

まず、旧 NKK および旧川崎製鉄のグループ会社が同一の事業を外部展開している領域では、グループ会社を統合することによって、最高効率の経営を追及する。ここでは、4月1日より JFEスチールとともに JFE 建材（日本鋼管ライトスチール・川鉄建材）、JFE コンテナ（川鉄コンテナ・鋼管ドラム）、JFE ケミカル（川崎製鉄化学事

業部・アドケムコ）の 3 つの統合グループ会社がスタートを切